

# 平成19年度事業

## 家畜衛生部

### 1. 家畜伝染性疾病発生予防事業関係

家畜伝染病の蔓延防止のため、家畜自衛防疫団体及び獣医師等と連携し、予防接種を行った。

平成19年度主要予防注射実施頭羽数実績

予防注射の種類	実施頭数 (頭、羽)
牛伝染性鼻気管炎	12,753
牛イバラキ病	3,655
牛サルモネラ感染症	2,350
牛ヘモフィルス感染症	6,025
牛コロナウイルス感染症	1,560
牛アカバネ病	441
牛異常産3種混合	9,492
牛流行熱	76
馬3種混合、馬インフルエンザ	109
ニューカッスル、伝染性気管支炎	4,676,000

### 2. 豚コレラ撲滅対策事業関係

豚コレラの清浄性確認のため、養豚農場の協力のもと飼養管理および衛生状況等について調査。(調査農場数延べ18農場)

### 3. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業関係

BSE検査の円滑化と死亡牛の適性処理に向け、死亡牛の輸送及び保管事業を行い、本県における死亡牛の適正処理を図った。(24カ月齢以上処理頭数730頭)

### 4. 家畜生産農場清浄化支援対策事業関係

家畜伝染病の侵入や蔓延防止に向けJAおよび酪農組合等と連携し、牛ヨーネ病や豚オーエスキー病の自主検査等を行った。

平成19年度各検査実施状況

検査区分	検査頭数
ヨーネ病関係	750頭
オーエスキー病関係	582頭

### 5. 高病原性鳥インフルエンザ緊急対策事業関係

県内の養鶏農場及び畜産関係機関等を対象とした高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会を開催。

研修会開催状況

開催時期	開催場所	講習内容
10月	出雲市	有害野生動物の駆除方法 高病原性鳥インフルエンザ防疫対策の実際

## 6. 家畜防疫互助基金造成等支援事業関係

畜産物のグローバル化により、我が国への伝染病の進入が懸念されている中で、海外悪性伝染病（口蹄疫、牛疫、牛肺疫、豚コレラ及びアフリカ豚）が国内で発生した場合、生産者の経済的損失を緩和するため、各JAおよび酪農組合等の協力のもと、加入推進を行った。

平成19年度契約実績

加入者数	畜種	契約頭数(頭)
1,570	乳用牛	12,220
	肉用牛	33,268
	豚	31,774
計		77,262

## 7. 馬飼養衛生管理特別対策事業関係

本県における馬防疫推進のため、講習会の開催や馬獣医療実態調査等を実施した。

馬衛生管理技術講習会開催状況

開催時期	開催場所	内容
11月	出雲市内	馬伝染病発生状況及び馬を介した地域交流

馬獣医療実態調査実施数：8農場

## 8. 生乳検査事業関係

本県における乳質の向上や円滑な生乳取引および乳用牛の改良のため、生乳検査を行なった。

平成19年度月別生乳検査成績（配分検査県平均）

（単位：乳脂肪と無脂固形は%、細菌と細胞は万/cc）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
乳脂率	3.92	3.86	3.83	3.85	3.85	3.86	3.89	4.01	4.01	4.02	4.06	4.04	3.93
無脂固形率	8.76	8.65	8.60	8.59	8.55	8.61	8.69	8.76	8.80	8.76	8.75	8.71	8.69
細菌数	4	4	4	4	4	5	6	4	3	3	5	6	4
細胞数	21	23	23	26	25	25	26	24	23	21	20	20	23